

順正学園と県北3病院

連携協力へ協定

岡山で調印式

学校法人順正学園（高梁市伊賀町）は6日、津山中央（津山市川崎）、金田（真庭市西原）、渡辺（新見市新見）の県北3病院と連携協力協定を結んだ。看護師や理学・作業療法士、社会福祉士を目指す学生の教育の充実とともに、「医療過疎地」「人材を供給し、地域社会への貢献を図る。

同学園によると高等教育機関と病院による包括的協定は県内初。吉備国際大（高梁市伊賀町）、順正高等看護専門学校（同所）などを運営する順正学園が、3病院に臨床教育への協力を依頼。病院側はスタッフ確保につながることを期待し快諾した。

同学園岡山駅前キャン



協定書にサインする加計理事長（左から2人目）と3病院長

ンパス（岡山市北区岩田町）で調印式があり、関係者約40人が出席。加計美也子同学園理事長が「地域に役立つ人材を医療現場に送り出したい」とあいさつ。

藤木茂篤・津山中央病院長、金田道弘・金田病院長、遠藤彰・渡辺病院長と協定書にサインした。

今後、病院はインターンシップ（就業体験）

や実習受け入れに加え、大学などの講義に医療スタッフを派遣。同学園は卒業生の病院への就職をあっせんしていく。（黒崎平雄）